

# 沿北南中

米名門大学生が訪問  
仮設の高齢者と交流

◆大槌◆ 米マサチューーセツ  
ツ工科大の学生8人が、東日本  
大震災で被災して仮設住宅で生  
活する高齢者らと交流した。  
同大は学習の一環として、日  
本の大学や企業に学生を派遣し  
ており、初めて被災地訪問を組  
み入れた。学生の出身地は米国、  
タイ、中国など様々。大学での  
日本語学習を経て、東京都内の

大学や企業で3～5か月間、研  
究や研修活動をしている。  
町内の福祉施設で、学生が高  
齢者に包丁の使い方を教わりな  
がらカレーを作つたり、アメリ  
カにまつわるクイズで交流した  
りしていた。

日本マイクロソフトで3か月  
間の研修に参加している中国人  
の陳昌平さん(20)は「震災後の  
東北に来るのは初めて。家を流  
くましく生きるおばあちゃんに  
励まされた」と話していた。  
震災で自宅が全壊し、仮設住

人たちが大槌に来てくれてうれ  
しかった」と笑顔だった。



仮設住宅の高齢者と交流するマ  
サチューーセツツ工科大学の学生